

平成28年(2016)は、臨濟宗の宗祖である臨濟禪師の1150回忌、翌29年(2017)は日本臨濟禪中興の祖・白隠禪師の250回忌にあたります。50年ごとに行われる大法要を「遠諱おんき」といいます。人々への幅広い禪の普及につとめられたこの二人の祖師が、もしもこの現代に生きておられたら、いったいどのように禅をつたえるであろうか。そんな考えのもと『禅いまを生きる』をテーマとして、遠諱実行委員会では大法要をはじめ京都国立博物館、東京国立博物館での展覧会(平成28年春～秋)、本格的な坐禅に触れることのできる鎌倉での大坐禅会(平成28年10月)など様々な記念事業を行います。

その一環として昨年6月によみうりホールで開催された記念企画の第2弾となる事業を、今回は六本木ヒルズ森タワー49階の六本木アカデミーヒルズにて開催します。講演会、鼎談のほか、法話と写経、坐禅、禅僧との対話など、複数のイベントが同時に開催されます。東京全体を見渡すことができる地上200メートルの眺望を楽しみつつ、「禅」についてのあらたな発見、体験をしてください。 ※各講座は、それぞれ事前のチケット購入が必要です。但し、「禅僧との対話」はどなたでも無料でご参加いただけます。

基調講演：「禅の流れ」—臨濟禪師から白隠禪師へ—

時間：14:00～15:30(13:30開場)
会場：タワーホール
講師：安永祖堂老師(花園大学教授)
席上揮毫：金澤翔子氏(書家)
定員：450名 参加費：1,000円(税込み)

現在の日本臨濟禪の法系を過去にたどっていくと、すべては江戸期の白隠禪師にたどり着きます。では、白隠禪師に到るまでの禅の流れはどのようなものだったのでしょうか。遠く釈尊の覚に発する禅を、独自の中国仏教として確立した臨濟禪師の教えを起点にして、一緒に考えてみたいと思います。講演の前には、書家の金澤翔子さんによる席上揮毫も行われます。

鼎談：「禅ってなに？」

時間：16:30～18:00(16:00開場)
会場：タワーホール
講師：阿部宗徹老師(臨濟僧堂師家・元花園大学学長)
阿川佐和子氏(作家、エッセイスト)
平井正修師(全生庵住職)
定員：450名 参加費：1,000円(税込み)

話を聞き出す達人である阿川佐和子氏が、「禅」について、直球質問を投げかけます。どのような話が飛び出すのか、予測不能。元花園大学学長である阿部宗徹老師と政財界人が多く参禅する全生庵住職・平井正修師が、いかにその球を打ち返すのか。ご期待ください。

法話と写経：「延命十句観音経写経」

時間：14:00～15:00/15:30～16:30/17:00～18:00
3回の入れ替え制
会場：カンファレンスルーム 1&2
講師：横田南嶺老師(円覚寺派管長)
定員：各回60名 参加費：1,000円(税込み)

あらゆるお経の極意が、このわずか42文字の最も短い經典である「延命十句観音経」にこめられているといわれます。円覚寺派管長である横田南嶺老師からその内容を解説いただき、また写経をご指導いただける貴重な機会です。

体験講座：坐禅

時間：14:00～14:40/15:00～15:40
2回の入れ替え制
会場：スカイスタジオ
講師：平井正修師(全生庵住職)
細川晋輔師(龍雲寺住職)
定員：各回50名 参加費：1,000円(税込み)

情報過多の現代、落ち着きを取り戻すために、姿勢を調べ、呼吸を調べ、心を調べ、自分本来の大切な時間を過ごしてみたいかでしょうか。このワークショップではわかりやすい坐禅指導の後、実際に20分間坐り、最後に白隠禪師坐禅和讃を唱和します。

体験講座：「白隠禪師の瞑想について」

時間：16:00～16:40/17:00～17:40
2回の入れ替え制
会場：スカイスタジオ
講師：玄侑宗久師(福聚寺住職、作家)
定員：各回50名 参加費：1,000円(税込み)

白隠禪師は、自ら深く試した瞑想法を、多くの在家の人々に紹介しました。頭を剃り、坐禅や道場での公案修行に専念できない人々も、常に視野に入れていたのです。唯識の理論も踏まえ、坐禅と瞑想を同じ土俵で捉えたその炯眼は画期的です。ヴィパッサナーにも通じる「軟酥の法」や「内観の法」を、福島県三春町の福聚寺住職、そして芥川賞作家でもある玄侑宗久師にご紹介いただきます。

無料講座：禅僧との対話

時間：14:00～17:30
会場：ライブラリーカフェ
参加費：無料

『禅』ってなに? 「臨濟禪師」「白隠禪師」ってどんな人? 『坐禅』って? 『お寺』って? 分からないこと、知りたいこと、どんなことでも聞いてみて下さい。臨濟宗の僧侶が直接お答えします。そんなフリースペースです。この講座のみ、事前チケット購入が不要です。どなたでも参加いただけますので、お気軽にライブラリーカフェへお立ち寄りください。軽食、お飲み物もカフェにて購入できます。



安永祖堂(やすながそどう) 老師

1956年、愛媛県生まれ。花園大学卒業後、京都天龍寺平田精耕老師に就いて入室参禅。現在花園大学教授、天龍寺国際禅堂師家。専攻は禅学。禅とカトリックの交流の研究。著書に『禅ぜんZEN』、『笑う禅僧』など。



金澤翔子(かなざわしょうこ) 氏

1985年、東京都目黒区生まれ。5歳で、母の師事で書を始める。2005年銀座書廊で個展。2009年鎌倉建長寺、京都建仁寺で個展開催(以後毎年開催)。2011年奈良東大寺で個展開催。福島に「金澤翔子美術館」を開設。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」揮毫。2013年銀座に「銀座金澤翔子美術館」を開設。平泉中尊寺で個展。熊野大社、巖島神社で奉納の揮毫。国体の開会式で揮毫。天皇の御製を揮毫。2014年「別冊太陽」平凡社から発刊。山寺に「金澤翔子記念館」を開設。



阿部宗徹(あべそうてつ) 老師

1947年青森県八戸市生まれ。花園大学卒業。妙心寺山内慈雲院、足立宗詮老師のもとで得度、妙心僧堂・臨濟僧堂に掛搭。臨濟僧堂倉内松堂老師に嗣法。2001年臨濟寺住職並びに僧堂師家に就任。元花園大学学長。



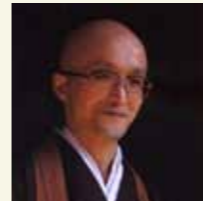
阿川佐和子(あがわさわこ) 氏

作家・エッセイスト。東京生まれ。慶應大学文学部卒業。TBS「情報デスクToday」「筑紫哲也NEWS23」「報道特集」でキャスターを務める。以後、執筆を中心にインタビュー、テレビ、ラジオ等幅広く活動。1999年『あ言えばこう食う』(檀ふみとの共著)で第十五回講談社エッセイ賞、2000年『ウメ子』で第十五回坪田譲治文学賞、2008年『婚約のあとで』で第十五回島清恋愛文学賞を受賞。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」、TBS「サワコの朝」にレギュラー出演中。近著に『叱られる力 聞く力2』(文春新書)。2014年第六十二回菊池寛賞を受賞。



平井正修(ひらいしょうしゅう) 師

1967年、東京生まれ。1990年学習院大学法学部卒業。1990年に静岡県三島市龍澤寺専門道場に入門し、2001年に同寺を下山。2003年、全生庵第七世住職に就任。現在、安倍首相や中曽根元総理などの政界・財界人が多く参禅する全生庵にて、坐禅会や写経会など布教に努めている。主な著書に、『最後のサムライ 山岡鉄舟』、『坐禅のすすめ』、『囚われない練習』など。



横田南嶺(よこたなんれい) 老師

1964年、和歌山県新宮市生まれ。1987年筑波大学卒業。1991年から円覚寺僧堂で修行、足立大進前管長に師事。2010年臨濟宗円覚寺派管長に就任。主な著書に『祈りの延命十句観音経』、『青松閑話』、『延命十句観音経のはなし』、『いろはにほへと ある日の法話より』など。DVDに「精一杯生きよう」がある。



細川晋輔(ほそかわしんぼ) 師

1979年、東京生まれ。2002年佛教大学人文学部卒業後、京都妙心寺専門道場に入門。2011年に同寺を下山し、2013年に世田谷区野沢にある龍雲寺の住職に就任。



玄侑宗久(げんゆうそうきゅう) 師

1956年、福島県三春町生まれ。安積高校卒業後、慶應義塾大学文学部中国文学科卒業。さまざまな職業を経験した後、京都の天龍寺専門道場に入門。現在は臨濟宗妙心寺派、福聚寺住職。花園大学仏教学科客員教授。2001年、「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。2014年には東日本大震災の被災地を舞台に描いた短編集「光の山」で芸術選奨本賞を受賞。